

定期大会での発言から



定期大会の討論では、産別組織や地域組織から運動方針を補強する発言が続きました。

組織強化・拡大の取り組み

小林代議員(福保労) 組織減少の中でも7年連続のストで立ち上がる組合員を増やしてきた。この中で組合員が主役の会議運営など活動の改善を進めた。3月9日には1300人近いなかまが多彩な行動に、これを組織の前進につなげたい。

山田代議員(J・M・T・U) ある支部が2人となり消滅危機の際、脱退者に共済活用を説得し20人

に。日常活動の大切さを実感。従来の活動でなく、地本も再出発支部を支え、最高時の90人をめざす。

小田代議員(郵政ユニオン) 全労連組織拡大最重要計画で大阪労連からも支援いただき、8つの郵便局前早朝宣伝で4人加入。役員だけでなく組合員も参加し組織強化に。今後も均等待遇めざしてとりくむ。

健康保険証が廃止されたら私たちの生活はどうなるの？



国は6月の通常国会で現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を強行可決させました。しかし、誤登録や情報漏えい「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、患者・国民が不安を抱えています。

コンビニでの証明書交付サービスにおける他人の住民票の誤発行や印鑑登録証明書での古い証明書の誤交付、公金受取口座の誤登録に加え、他人の医療情報を誤って開示するなど、深刻な事態が次々と明らかに。なって制度の根幹を揺るがす事態が多発しています。健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持た

ない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となり、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

マイナンバーカードの運用を一旦停止し、完全・確実な総点検が必要であることはもちろんですが、まず、現行の健康保険証を存続させることが、この問題の解決にとって不可欠です。

大阪労連では2024年秋の保険証廃止の中止を求め、職場や地域で署名をすすめます。また、実際に健康保険証が廃止されたら職場や私たちの生活にどのような影響がでるかなどを連載していきます。

2024年度大阪労連役員体制

議 長	菅 義人	生協労連	再	幹 事	久松 博行	JMITU	再
	北川美千代	大阪教職員組合	再		細川 智子	女性部	再
	小林 里美	福祉保育労	新		前原 嘉人	医労連	再
	坂田 俊之	自治労連	新		前村 和弘	建交労	再
	坂元 孝信	堺労連	再		松島 照男	金融労連	再
	福井 勇	自交総連	再		松本 英児	生協労連	再
副 議 長	福岡 泰治	医労連	再		三枝 花世	生協労連	再
	嘉満 智子	大阪労連	再		箕作 勝則	城北労連	再
	鴻村 博	自治労連	再		村井 毅史	大私教	再
	海老原 新	化学一般	新		山下 幸博	国労大阪	再
	青山 一見	枚方労連	再		山岨 悟	堺労連	再
	家串省三郎	岸和田労連	再		米山 幸治	大阪教職員組合	再
幹 事	大神 栄一	郵政ユニオン	再	会 計 監 査	阪本 仁	大阪国公	新
	荻田 智	建交労	再		山崎 聡	大私教	再
	城戸 和廣	八尾労連	再	特 別 幹 事	久保田 稔	全港湾阪神支部	再
	児玉 光司	豊中労連	再		大河原 駿	全港湾築港支部	新
	小寺 重光	年金者組合	再		藤井 一也	民放労連近畿地連	再
	小松 康則	自治労連	再		遠近 照雄	大阪労連	新
	佐々木信也	富田林・東部労連	新		宮崎 徹	大阪労連	再
	志摩 毅	大阪教職員組合	再		退任された皆さん		
	高松 一郎	大阪国公	再	有田 洋明さん（自治労連）			
	竹口 登美	全国一般	再	浦井 裕子さん（松原労連）			
	寺田 将士	福祉保育労	再	鈴木まさよさん（大阪労連）			
	仁木 将	自治労連	再	西川 尊洋さん（大阪国公）			
庭和田裕之	自交総連	再	お疲れ様でした。				